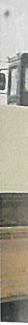


自分のタイプを分析し、
就活行動計画を立てよう!!

自己分析・就活手帳付き

北海道の
中小企業に
ようこそ

中小企業の
魅力発見
ガイドブック



— リビーターが多いことも看名

きない感動がそこにあります。

ワコオ工業

掲載情報
114ページ

アジア諸国の旺盛な需要を取り込む

バルブ製造・メンテナンス会

社のワコオ工業（本社・札幌、
114ページ参照）は、2011年9月にフィリピンに現地法人を設立し、社員9人を現地採用しました。発電所などの大型プラント建設が活発なアジア諸国

の旺盛な需要を取り込み、将来は海外比率を現在の1割から3割程度まで引き上げることを目指しています。

同社は1970年に創業。石油精製プラントや工場、発電所、下水処理場など大型設備のバルブ据え付けや整備、メンテナンス業務が主力です。ロシア・サハリン州の石油・天然ガスプロジェクトに参入した実績があります。



ナニワ

掲載情報
82ページ

中国浙江省に商社の「寧波浪花」を設立

アウトドア用品や家庭用品、住宅設備など日々の暮らしや

レジャーに欠かせない商品を提供する卸問屋のナニワ（本社・札幌、参考82ページ）

海外進出については、2001年に中国の南東に位置する浙江省の寧波市に商社の「寧波浪花」を設立しました。

同規模の同業者で、外国に出先を設け、自社ブランドとして販売展開している企業は数少なく、この会社が、現地で生産される製品を買い付け、「North Eagle」など、ナニワのオリジナルブランドとして日本に輸出され、ホームセンターなどで販売されています。

中国での会社設立は、コールマンなどのナショナルブランドの脇を固め、収益の確保に大きな役割を果たしています。



ワコオ工業株式会社

工場の整理整頓に感動しました

2013年入社
技術部技術グループ
中島 将貴

先輩の声



大学で機械システム工学を専攻していたので、ものづくりの仕事に就きたいと思っていました。就職説明会でこの会社を知って、工場を見学しましたが、整理整頓が行き届いてびっくりしました。バルブのメンテナンス会社だと聞いていたので、当然、工場は油まみれだと想像していましたが、清潔な工場を見て感動しました。

入社1年目から現地に行かせてもらい、清掃工場のポンプ修理に携わり、技術を学びました。今年は2ヶ月、神奈川県の石油プラントで仕事をしましたが、大きな現場なのでとても勉強になりました。早く先輩の技術を吸収して、一人前の技術者になるよう頑張ります。

2006年にはロシア・サハリン州のLNG（液化天然ガス）プラントに技術者を派遣し、現地のロシア人技術者に安全弁の受け入れ検査を指導しました。この仕事を足掛かりとして海外進出に乗り出し、11年フィリピンに現地法人を設立。和田社長は「社会インフラのメンテナンス分野で世界に冠たる企業へ発展させたい」と熱くビジョンを語ってくれました。



ワコオ工業株式会社

〒003-0013
札幌市白石区中央3条2丁目1番50号 ワコオビル
電話◆011-832-5111
HPアドレス◆<http://www.waquo.co.jp/>
E-mail◆sapporo@waquo.co.jp

■設立/1970年4月
■資本金/7千万円
■売上高/6億3,696万円(2013年3月)
■代表者/和田一仁
■従業員数/42名
■事業内容/プラント用バルブ・ポンプの販売及びメンテナンス

お問い合わせ

〒003-0013
札幌市白石区中央3条2丁目1番50号
ワコオビル
電話◆011-832-5111
FAX◆011-832-2205
■担当/営業本部管理グループ 伊藤



代表取締役社長
和田一仁

トップメッセージ

財産は優秀な技術・経験を持つ社員です

当社では毎年、新入社員の内定式に親を招待しています。大切なお子さんを預かるわけですから、お父さんやお母さんに「自分の子供がどんな環境で仕事をするのか」を是非見てもらいたいと思つて始めました。ワコオ工業の財産は、確かな技術と豊かな経験を持つ技術スタッフです。企業を发展させていくため、若く明るく元気で素直な優秀な人材を求めています。



メンテナンスで世界に冠たる企業へ

お客様さまに感動を与える企業

バルブ・ポンプのメンテナンス専門会社、ワコオ工業は1970年の創業以来一貫して「お客様第一主義」の経営理念を実践しています。「顧客主義」を唱えている企業は少なくありません。しかし、それを社員一人ひとりが日常業務でどれだけ具体的に実践しているのか?と問われると、多くの会社は答えに窮するでしょう。

アポイントメントを取りつてワコオ工業を訪問すると、玄関の小さなメッセージボードに訪問者の名前・肩書き、そして「お待ちしております」と手書きで歓迎の言葉が書いてあります。本社と工場を行き来する従業員は手にバケツと火箸を持って道路に落ちているゴミ拾っています。バルブの修理を行った技術スタッフは作業場所の5m四方を掃除して帰って来ます。和田一仁社長は「小さなことを積み重ねていくことが大事で



す」と強調します。同社はバルブやポンプに使用する安全弁のメンテナンスサービスを主体とする専門会社。バルブの特殊な加工・調整技術は他社を圧倒し、国内の大手バルブメーカーから高い信頼を得ています。